WOWAUTO

車マルチメディアプレイヤー

取扱説明書

DVD/ラジオ/ISDB-T/GPS/ブルートゥース

＊ TFT液晶ディスプレイ
＊ タッチスクリーン制御
＊ MP4(AVI/DIVX/5.X)およびDVD/ VCD/ SVCD/と互換性をもつ。
WMA/MP3/JPEGディスク
＊ 後方確認用CCDビデオ出力
＊ FM/AMラジオ、30のプリセット局
＊ Bluetooth機能をサポート
＊ タッチスクリーンは、自動的に調整可能である。
＊ ISDB-T TV受信機
＊ GPSの外箱

取扱説明書

目次

重要な情報 …… 3

注意事項 …… 4

仕様 …… 4

1. リモコンボタンの機能 …… 5

2. セットアップ機能の操作 …… 7

3. 機能の操作 …… 8

4. ラジオ機能の操作 …… 10

5. DVD機能 …… 11

6. VCD/MPEG-4機能の操作 …… 14

7. Cd機能の操作 …… 17

8. MP3/USB/SDカードの操作 …… 19

9. BLUETOOTH操作 …… 20

車ベースデジタルテレビ …… 22

他のモード …… 25

取付けする際の参照 …… 26

取付けする際の参照

問題解決ガイド

問題	原因	解決法
電源が入らない	電力ヒューズが切れていないか確認してください	以前のものと同じヒューズに取り換えてください
	いくつかの要因は、MPU誤操作の原因となる	ペン先でパネル上のリセットボタンを押し、それから電源を入れてください
イグニションスイッチが切れると、すべての設定情報が失われる	点火線ACCと定電圧12ボルトワイヤの間の誤配線	配線を入れ替えてください
リモート・コントロールが機能しない	電池からの十分な電力供給がない	リモコン用電池を交換してください
ラジオ局の性能が悪い	アンテナの長さが不適当、、アンテナ接地の接続状態が悪い	アンテナが接続されているかどうか、または接続状態を確認してください
ディスクをロードすることができない	ディスクがまったく動かない	ラジオ上部にある2本のネジを取り外してください
ディスクを再生できない	CDに傷がついている	新しいディスクに取り換える
	ディスクの裏側をユニットに入れている	サイン側を上にしてディスクを中へ入れる
	レンズに汚れがつく	レンズクリーンディスクでレンズを清掃する
言語/字幕を切り替えることができない	ディスクが1つの言語/字幕にしか対応していない	ディスクがマルチ言語/字幕に対応していない場合、言語/字幕を切り換えることはできない
画像が出力されない	ユニットとTVの間のビデオラインが正しく接続されていない	再度ラインを接続する

重要な情報

安全

⚠ ユニット使用前に、説明書を読んでください。説明書に従わず発生した損害は保証されません。
⚠安全運転および交通ルール遵守のため、運転中は番組を視聴したりユニットの操作をしたりしないでください。
⚠取扱説明書に従わずにコントロール・調整をしたり、操作プロセスを実行すると、危険なレーザが放射されたり、その他の危険な事態につながる恐れがあります。
⚠ 互換性のないヒューズを使用すると、ユニットが損傷したり、火災を引き起こす可能性があります。ヒューズを交換する必要がある時、専門家に連絡してください。
⚠ ショートを避けるため、ユニットを雨にさらさないでください。
⚠ 装置の通気口やその他開口部分には何も挿入しないでください。
⚠ ユニットの電源がオンになると、可視レーザー光または不可視レーザー光が照射されますので、レーザー光を直視することは避けてください。
⚠ 画面の損傷 鋭利な物で画面を押したり、摩擦したり、打撃を与えたりしないでください。
⚠ CD-ROMを清潔にするためにベンゼン、シンナー、商用清浄剤あるいは静電気防止スプレーを使用しない。
⚠ 装置のお手入れには柔らかい布を使用してください。アルコール、家庭用化学物質または洗剤などを使用しないでください。装置をきれいにしてください。
⚠ ご自身によるメンテナンスで機械を開けたりせず、専門修理サービス・ステーションをご利用ください。
⚠ エンジンを止めたら、長時間に渡るカーオーディオの使用は避けてください。バッテリーが切れてしまう可能性があります。

機能

カー・インフォテインメント・システムおよびナビゲーションシステムを使用してルートを素早く探し出すことができます。また、次のメディアや装置を使用してオーディオ、ビデオ、JEPG画像を楽しむことができます。

・DVD/VCD/CD　・SD/TFカード　・ブルートゥースからの音声
・USB　・外部機器　・FM/AM (MW)ラジオ

また、ブルートゥースに対応する機器を使用して電話をかけたり応答したりすることができます。

注意事項：機能説明がユニットとは異なる場合、現品ユニットを基準として参照してください。

注意事項

本装置が再生できるディスクは以下の通りです。

モード	アイコン	内容	ディスクサイズ
DVD	DVD	音(画像)	12cm
VCD	VCD	音、画像	12cm
CD	CD	音声のみ	12cm
MP3	MP3	音声のみ	12cm
MPEG-4	MPEG-4	音(画像)	12cm
USB	USB	音、画像	2.0以下のフォーマット
注記:本ユニットのVCDはVCDフォーマット1.0/1.1/1.2/3.0と互換性があります。 DVCDディスク。			

仕様

システムパラメータ

システム電圧:DC 10.8V-16V
動作電流値:最大12A
メモリ電流値:<30mA
オペレーション温度:-20℃+60℃
使用温度:-30℃+80℃
ビデオシステム:PAL/NTSC

無線パラメータ

周波数範囲
FM:76-90MHz
AM:522-1620KHz
表示の方法:TFT、OSD
登録されている放送局:
FM:18 の放送局
AM:12 の放送局
検索方法:自動/手動

DVDパラメータ

ビデオ出力:1+0. 2VP-P(75Ω)
ディスク規格:直径12cmのディスク
直径12cmのディスク:
DVD/VCD/CD/MP3/WMA/JPEG
/MPEG4(AVI,DIVX)

音声パラメータ

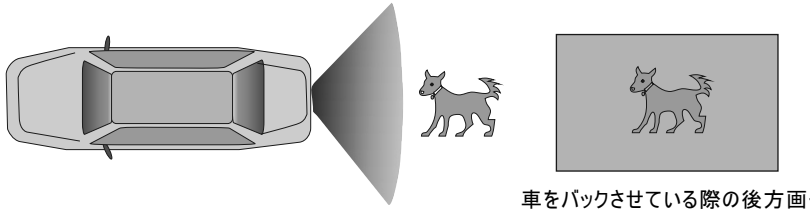
音声のアンバランス:≦2DB
分離:≧50DB
再生周波数帯域:20HZ-20KHZ(+3DB)

電力パラメータ

試験電圧:14.4V
スピーカーインピーダンス:4-8Ω

他のモード

CCD(バックアップカメラ)。
ご使用の車にバックアップカメラがインストールされている場合、ユニットのバック制御ラインである「バック」にカメラ制御ポートをつなぎ、そして、ビデオ出力とカメラのビデオ出力をつないでください。
車をバックさせている時、ユニットは後方確認用モードに自動的に切り替わる。
(以下の絵のように)



車をバックさせている際の後方画像

3. 情報表示

ホームページメニュー(図2)の [目] をタッチしてテレビ情報表示インターフェイス(図3)にする。

図3

注記:非常ブロードキャスト機能は、現在中国ではサポートされない。

1) 電子化サービスガイド
図3の(電子サービスガイド)をクリックし、[✓] をクリックして確定すると、各局のプログラム・ログが表示される(図3-1.1)。

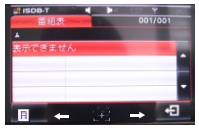


図3-1.1

[▲][▼] をクリックすると、プログラム・ログが上下にスクロールする。
[◀][▶]をクリックすると、前の局および次の局を表示する。
[↩] をクリックすると、(情報)メニュー(図3)に戻る。

2) 言語/輝度セットアップ
図3の(セットアップ)をクリックし、[✓] をクリックして確定すると、設定メニューになる(図3-2.1)。設定メニュー画面で以下のパラメータを設定できる。

言語	明るさ	工場出荷時設定の復元

[◀] [▶] をクリックすると、言語、明るさ、工場出荷時設定の復元の間でモードが切り替わる。

図3-2.1

[↩]をクリックすると、(情報)メニュー(図3)に戻る。

▶ 言語設定

(セットアップ)インターフェース(図3-2.1)で [◀] [▶] をクリックし、言語設定インターフェース(図3-2.2)に切り替える。

図3-2.2

[▲][▼] をクリックすると、(中国語)と(英語)の切り替えができる。
[✓] をクリックして設定を保存する。
[◀] [▶] をクリックすると、(情報)メニューに戻る。

▶ 輝度セットアップ

(セットアップ)インタフェース(図3-2.1)の [↩] をクリックし、輝度セットアップインタフェース(図3-2.3)に切り替える。

図3-2.3

[▲][▼] をクリックすると輝度値の調整ができ、
[✓] をクリックして設定を保存する。
[↩] をクリックすると(情報)メニューに戻る。

▶ 出荷時設定の復元

セットアップ)画面(図3-2.1)の [▶] [◀] をクリックし、出荷時設定の復元(図3-2.4)に切り替えること

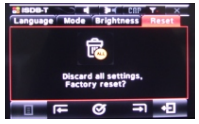
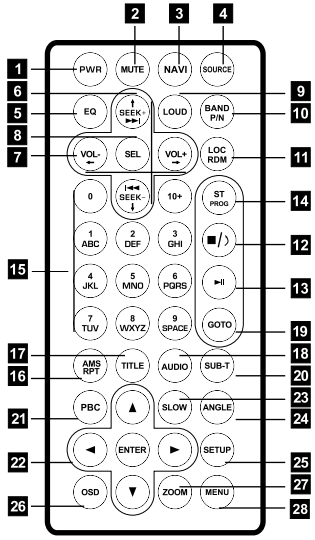


図3-2.4

出荷時設定の復元をする場合は、
[↩] をクリックして確定してください。
[✓] をクリックすると、(情報)メニューに戻ることができます。

リモート・コントロール機能



1 電源ON/OFF	15 0-10+
2 ミュート	16 AMS/RPT
3 時間表示	17 タイトル
4 発信元	18 オーディオ
5 EQ	19 再生時間の設定
6 SEEK+/SEEK-	20 字幕
7 VOL+/VOL-	21 PBC/メニュー
8 SEL	22 上/下/左/右の入力
9 音が大きい	23 スロー
10 BAND/P/N	24 角度
11 LOC/RDM	25 セットアップ
12 停止	26 OSD
13 再生/一時停止	27 ズーム
14 ST/プログラム	28 メニュー

1. 主電源
一度押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

2. ミュートボタン
一度押すとオーディオ出力が切れ、もう一度押すと音量レベルが再開します。

3. NAVI/DSP (オプション)
NAVIボタン(オプション)
ナビゲーションを終了するにはこれを押してください。
DSPボタン(オプション)。
時刻を表示させるにはこのボタンを押してください。
備考:GPSまたは外部GPS機能のないデジタル・カーDVDである場合、リモートコントロールのDSPボタンは機能しません(オプション)。

4. ソースボタン
オーディオソースを選択するにはこのボタンを押してください。

5. EQボタン
POP、ROCK 、Eqオフを選択するにはこのボタンを押してください。

6. SEEK+(▶▶I) /SEEK-(I◀◀)ボタン
手動回転、早戻し、前の局および次の曲の操作をするにはこのボタンを押してください。

7. VOL+(➡)/VOL-(⬅)
音量調整をするときはこのボタンを押してください。

8. SELボタン
サウンド機能を選択するにはこのボタンを押してください。

9. 大音量ボタン
大音量機能を起動するにはこのボタンを押してください。

10. バンドP/Nボタン
ラジオモードでは、このボタンを押して帯域を選んでください。VCD、DVDモードでは、AUTO, PALまたはNTSCシステムをを選択するにはこのボタンを押してください。

11. LOC/RDMボタン
ラジオモードでは、ローカルと方向を切り替えるにはこのボタンを押してください。VCD、CDモードでは、ランダム再生をするにはこのキーを押してください。

12. 停止ボタン
再生を停止するにはこのボタンを押してください。

13. 再生/一時停止ボタン
再生と一時停止を切り替えるにはこのボタンを押してください。停止モードのとき、このボタンを押すと再生が始まります。

14. ST/プログラムボタン
ラジオモードでは、このボタンを押してステレオ放送局かモノラル放送局を選択してください。音声モードでは、Stopボタンをプログラムの再生させることができます。

15. 0-10+ ボタン
お好きな曲、セクション、プリセット局を選択するにはこのボタンを押してください。
＊ 十進数、たとえば、19番目の曲は、1、9のボタンを押す。
＊ 100進法の数、たとえば、120番目の曲は、1、2、0のボタンを押す。

16. AMS/RPTボタン
ラジオモードでは、このボタンを押すと保存されている放送局の閲覧ができます。オーディオモードでは、このボタンを押すと繰り返し再生ができます。

17. タイトルボタン
DVDモードでは、このボタンを押すとディスクのトップメニュー戻ります。

18. オーディオボタン
DVDモードでは、このボタンを押すと対話言語を切り替えることができます。VCD モードでは、このボタンを押して左トラック、右トラックおよびステレオを選ぶことができます。

19. 再生時間の設定
DVDモードでは、このボタンを押すと、再生時間を設定することができます。

20. 字幕ボタン
DVDモードでは、このボタンを押して字幕の言語を切り替えてください。

21. PBC ボタン
VCD モードでは、このボタンを押すと全曲のメニューが表示され、数字ボタンで曲を選ぶことができます。

22. 上、下、左、右、ENTER ボタン
DVDモードでは、このボタンを押してカーソルを上、下、左、右に動かし、メニューの項目を選びます。選択した内容を確定するにはEnterボタンを押してください。

23. スローボタン
オーディオモードでは、このボタンを押すとスロー戻しおよびスロー再生ができます。

24. アングルボタン
DVDモードでは、再生アングルを変更するにはこのボタンを押してください。

25. 設定ボタン
オーディオモードでは、別の設定項目を選ぶにはこのボタンを押してください。

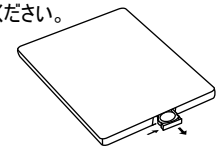
26. OSD 表示
このボタンを押すと、タイトルの章、および左に時間が表示されます。

27. ズームボタン
DVD/VCDモードでは、このボタンを押すと映像が拡大します。

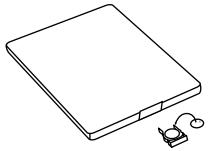
28. メニューボタン
メイン・メニューに戻るにはボタンを押してください。

電池交換
リモコンの制御距離が短い、あるいは機能しない場合は、電池交換してください。交換前に、有極性を確認してください。

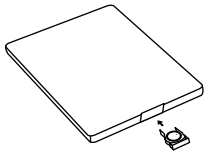
片方の手でストッパーを押し、もう片方の手で電池を抜いてください。



電池をリモコンに入れてください。



電池ホルダーをリモコンに挿入してください。



1. 放送局の検索

1) 自動検索
デジタルTV機能を使用する前に、まず局の検索が必要となる場合がある。

図1-1.1

フルスクリーン再生の状態（図1-1.1）で、 をタッチして検索インタフェース（図1-1.2）にする。

図1-1.2

探索インターフェースで（自動探索）を選択し、 をタッチして確定すると、システムが自動的にチャンネルを探索する（図1-1.3）。

図1-1.3

インタフェース（図1-1.3）の をタッチすると、検索が中断する。検索が完了すると、システムが自動的にプログラムを再生する。 をタッチすると、フルスクリーン再生モードに戻る。

2) 手動選択
フルスクリーン再生（図1-1.1）の状態で をタッチし、検索インタフェース（図1-2.1）にする。

図1-2.1

検索インタフェースで（周波数選択）を選び、 をタッチして確定する。該当するチャンネルを選択し、 をタッチして確定する。すると、システムは該当するチャンネルを再生する。（図1-2. 2）. をタッチすると、フルスクリーン再生モードに戻る。

図1-2. 2

2. メニュー操作

ホスト・コントロール・メイン・メニューで（TV）アイコンをクリックし、デジタルテレビモードにする。

注記：PIPインタフェースが表示される場合、（拡大）アイコンをクリックすると、TVメインメニューを表示できる。

TVモードを終了したい場合は、画面右上の部分を直接タッチする。

図2

Tvフルスクリーン再生モードで画面の中央上部をタッチすると、機能メニュー（図2）を表示できる。

1) 局を切り替える。
図2のインタフェースで をタッチすると前の局にアクセスし、 をタッチすると次の局へアクセスする。.

2) 音量調節
フルスクリーンの状態で をクリックすると、音量コントロール・ボタンを表示することができる。音量は(+/-)ボタンをクリックして調節する。.

注記：音量調節は、全画面表示の状態でのみ可能

3) 局の検索

注記：
詳細機能については、 1 の局の検索を参照のこと。

4) ラジオ・モード切り替え&プレイバックホームページのメニューの をクリックし、ラジオ・モード再生インタフェース（図2-4.1）にする。.

図2-4.1

 をクリックすると、番組リストを上下にスクロールすることができる。.
 をクリックすると、選択した局を再生できる。
 をクリックすると、テレビ放送、ラジオ放送およびデータ放送の間でモードが切り替わる。.
 をクリックすると、全画面表示で再生される。

取扱説明書

車ベースデジタルテレビ

説明書

1. 放送局を検索する 23

1) 自動検索 23
2) 手動選択 23

2. メニュー操作 23

1) 局を切り替える 23
2) 音量調整 23
3) 放送局を検索する 23
4) ラジオのモード切り替え/再生 23

3. 情報表示 24

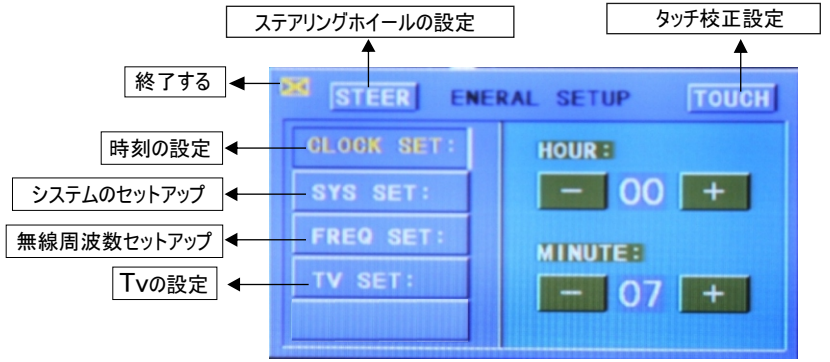
1. 電子化サービスガイド 24
2. 言語/輝度セットアップ 24
   - 言語設定 24
   - 輝度セットアップ 24
   - 出荷時設定の復元 24

出荷時設定の復元 24

セットアップ機能の操作

メイン・インターフェースで、

にタッチして以下のインターフェイスにしてください。.



注記：タッチ対応機能では、文字が黄色、背景が青で表示されます。

時間表示および調整

注記：対応機能をタッチすると、背景が緑色で表示されます。装置は、欧州時間(24時間設定)、およびアメリカ時間(12時間設定)の2つの時刻システムを採用しており、AMマークが表示されている場合は午前、PMマークが表示されている場合は午後を表します。

システムのセットアップ：このボタンをクリックし、次にパスワード「888888」を入力します。「OK」をクリックして、システムセットアップにします。on/offを選択するには該当するボタンを押します。「OK」ボタンを押して確定します。

ラジオ・セットアップ：「OK」をクリックしてラジオ・セットアップにします。5つの地域（ヨーロッパ、アメリカ1、アメリカ2、日本、ロシア）が選べます。

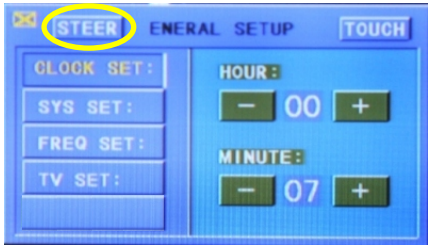
ステアリングホイールの設定：ステアリングホイールの設定をクリックします。（ステアリングホイール機能の操作説明）を参照のこと

位置ずれが生じている場合は、「+」の中央をタッチして画面を調整します。

操作機能

ステアリングホイール制御操作は以下の通りです。

1. 始点のステアリングホイール制御ワイヤから本ユニットまでプラス極/マイナス極を正しく接続し、上の図で表示されているようにユニットの電源を入れ、設定ボタンをクリックします。



2. 設定画面になったら、図のように「ステアリングホイール」ボタンをクリックします。

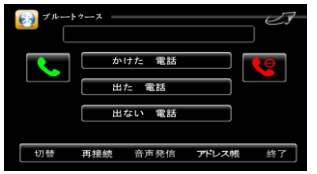
3. ステアリングホイール管理設定メニュー画面に入力してください。

4.元のステアリングホイール制御機能をメモに控えてください。

コンタクトの本

ブルートゥース・モードでこのボタンにタッチすると、以下の機能モードを選択できます。

発信履歴（かけた電話）：ダイヤルされた番号を検索するためにこの機能キーに触れてください。このキーをタッチするたびに、次の発信番号へカーソルが移動します。



着信履歴（出た電話）：受信した電話番号を検索するにはこのファンクションキーをタッチしてください。このキーをタッチするたびに、次の受信番号へカーソルが移動します。

不在着信（出ない電話）：不在着信番号を検索するには、このファンクションキーをタッチして下さい。このキーをタッチするたびに、次の不在着信番号へカーソルが移動します。

ブルートゥース機能

1. ユニットの機能ボタンを使って電話を受けたりかけたりすることができます。
2. ハンズフリー・マイクを使用して電話で直接話すことができます。
3. 内蔵の音量調整スイッチを使用して任意の音量に調整できます。
4. ブルートゥースのハンズフリー・モードと携帯電話モードを切り替えることができます。
5. 初めてかける番号には、ご自身の声で電話をダイヤルすることができます（ボイスダイヤル機能搭載の携帯電話のみ有効）
6. Bluetooth機能を使用すれば、運転に集中することができ、より安全性が高まり、法令順守することができます。その一方で、携帯電話からの電磁波が回避される。

注記：本ユニットとの組み合わせにはBluetooth装置を使用してください。正しい組み合せで接続されているときには接続状態が「LINK OK」と表示され、そうでないときは「NO LINK」と表示されます。

ブルートゥース機能の操作

メインインターフェイスで、 をタッチして以下のインタフェースにしてください。:

切り替え
Bluetoothハンズフリー・モードで、ディスプレイ上のこのスイッチボタンを押すと、スピーカーはビーッと音を発し、ハンズフリーが携帯電話に切り替わる。

ペアリングと接続
本機能をご使用になる前に、Bluetooth機器をユニットとペアにしてください。
操作:
ユニットがブルートゥース・モードの場合、「ペア」ボタンを押してブルートゥース・モードに携帯電話を設定してください。そして、携帯電話を操作して装置を検索してください。携帯電話がユニットのBluetooth機器検索を完了すると、携帯電話がBluetoothのペアリング・パスワードについての手掛かりを与えます。確認のため、携帯電話でブルートゥースパスワード(0000)を入力してください。次に、携帯電話が「本デバイスに権限があるかどうか」についての質問を表示するので、「はい」を選びます。20秒で携帯電話が自動的にBluetoothデバイスに接続します。ブルートゥース・インターフェースに0K LINKが表示されたら、携帯電話はブルートゥース機器に正常に接続されています。どのモード(ラジオ、DVD)でも、携帯電話が安定して終始Bluetooth機器に接続されているかどうか。携帯電話に着信があると、ユニットは現在の状態をブルートゥースに切り替えます。携帯電話をきった後に、自動的に、現在のモードを再開する。

ボイスダイヤル機能
ブルートゥース・ハンズフリーが携帯電話と接続されている場合、「ボイスダイヤル」ボタンを押して打鍵音を聞くこと、そして携帯電話の指示に従ってボイスダイヤル機能に進むことが可能です。例えば、誰かに電話をかけたい場合、携帯電話に保存されている人物の名前を発音すると、スピーカーが呼び出された人物の名前を読み上げ、画面上にこの人物の電話番号が表示されて自動的にダイヤルされます。

5.(1)カー・ステアリング・ホイール操作で段階的にボタンを押していってそれを記録させます。次に、図のように、本ユニットの「割り当て」ボタンを押します。
(2)カーステアリング・ホイール機能を選択するには、番号「2」をクリックします。

6.(1)図で示しているように、画面(位置1)の中の「音声」をクリックし、それから選択画面で同じ単語を選びます。

7. 図のように、変更する機能ボタンを選ぶには位置1をクリックし、それを変更するには位置2をクリックする。

8.(1) 図のように、保存を維持するには「確定」ボタンをクリックし、「1」をクリックして戻ります。
(2)画面の「確定」ボタンをクリックすると、設定は終了です。
(3)エリア1をクリックすると、すべてのステアリングホイール制御が削除され、前述の「やり直し」になってすべてのステアリングホイール機能がリセットされます。

ラジオ機能の操作

メインのインターフェースで、

をタッチして以下の「ラジオ」インターフェースにしてください。

あらかじめ保存された放送局の操作：
各帯域はあらかじめ6つの放送局を格納することができる。(p1-p6) を直接クリックしてあらかじめ保存された放送局を選択することができます。それはディスプレイに表示されます。

放送局の保存：
帯域を選び、それから放送局を選択してください。画面に番号を表示させるには、プリセットボタン(p1-p6)を長押しして下さい。

メインインターフェイスへ戻る

短くタッチすると、FM/AM受信数を反時計回りに調整することができ、長くタッチすると、FM/AM放送局を反時計回りに自動スキャンします。

短くタッチすると、FM/AM受信数を時計回りに調整することができ、長くタッチすると、FM/AM放送局を時計回りに自動スキャンします。

1-6のボタンでプリセット局をスキャンするには、ボタンをクリックしてください。長押ししてラジオ放送局を自動検索し、番号ボタン表示に最も周波数の強い放送局を保存してください。

ボタンをクリックすると「セットアップ」インターフェイスになります(「他のモード」での「AUX入力操作」の手順を参照)

対応するラウドネス補整効果をオン/オフにするには「LOUD」をクリックしてください。

VOLの電源を切るには「ミュート」をクリックします。元のVOLレベルに戻るには、再度クリックします。

POP/ROCK/CLASSIC モードを選択するには、EQを繰り返しクリックしてください。

ステレオの電源をオン/オフにするには、ボタンをクリックしてください。

帯域(FM1-FM2-FM3-AM1-AM2)を選ぶには、表示ボタンをクリックしてください

MP3/USB/SDカード操作

1. Sdカードまたは本機のUSB、MP3ディスクを挿入してください。視聴したい曲を選択するには、曲名を直接クリックしてください。ディスクまたはSDカードに画像やビデオ情報がある場合、関連アイコンを選択して視聴できる。

2. MP4ファイルを再生させるには、MP4フォーマット画面で をタッチすると直接クリックできます。あるいは、リモコンおよびタッチボタンによって、必要なMP4レパートリーの方向を選ぶことができます。.

3. KFYをクリックすると、DVDタッチ機能のこのインターフェースが表示されます。
(DVDタッチ機能の取扱説明を参照のこと)
注記：再生画面に戻るには、リモコンで^/停止ボタンを押します。

(1). 一時停止再生
再生モードでは、リモート・コントロールの ▶II ボタン、あるいはディスプレイの▶II タッチボタンを押すと一時停止します。通常再生にもどるには再度ボタンを押します。.
(2). 前/次の曲再生
再生モードで、リモコンのSEEK+/SEEK- 、あるいは前ディスプレイ上の ▶▶I /I◀◀ タッチ・ボタンを押すと、前の曲/次の曲を選択できます。

(3). 早送り/早戻し
再生モードでは、▶▶I/I◀◀ ボタンを長押しすると早送り/早戻しできます。
ボタンを押すたびに、以下のように早送り/早戻しの速度を変更できます。

X2 → X4 → X8 → X16 → X20
↑ 再生 ←

注記：スクリーン上の「早送り/早戻し」ボタンでも操作できます。

(4). プレーを繰り返す
再生モードで次のリピート機能を実行するにはAMS/RPTボタンを押してください。

シングル繰り返し→ディレクトリ検索→すべて繰り返し→繰り返し再生オフ
↑

注記：また、画面上の「繰り返し」ボタンでも操作が可能です。

9. 項目を選択する
(1) 再生モードでは、リモコンの番号ボタンを直接押してどの項目番号も入力することができます。ユニットが入力されたプログラムを自動再生します。
(2) 10以上のプログラムについては、リモート・コントロール上の番号ボタン10+を押し、それから番号ボタン0～9を選択します。

注記：次のように、番号ボタン10+を一度押すと10+プログラム、10+ボタンを二度押すと20+プログラムを設定できます。また、画面の番号ボタンでも操作できます。

10. Cdプログラム再生
CDモードでは、プログラム機能で再生する順番を設定できることができ、操作は以下の通りです。
CDが再生されている場合、ST/PROGボタンを押すと次のような表示がでます。

PROG			
TC	TC	TC	TC
1 _ _ : _ _	5 _ _ : _ _	9 _ _ : _ _	13 _ _ : _ _
2 _ _ : _ _	6 _ _ : _ _	10 _ _ : _ _	14 _ _ : _ _
3 _ _ : _ _	7 _ _ : _ _	11 _ _ : _ _	15 _ _ : _ _
4 _ _ : _ _	8 _ _ : _ _	12 _ _ : _ _	16 _ _ : _ _
	PLAY	DELETE	

リモコンでプログラムを組みたい曲の番号を入力します。1曲目をプログラムするには、お好きな曲、例えば6曲目であれば、リモコンの番号ボタン6を押します。第2曲目をプログラムするには、▼ ボタンを押してカーソルを2[ ]に移動します。お好きな曲、たとえば9番目の曲であれば、リモコンの番号ボタン9を押します。プレーをプログラムするために ⏯ ボタンを押してください。
通常モードに戻るので、ST/PROGボタンを押し、それから ⏯ ボタンを押す。.
注記：この機能は、リモコンでのみ操作が可能です。

DVD機能の操作

DVD再生：

DVDディスクを挿入すると、自動的に再生が始まります。ディスクが挿入されている場合、メイン・メニューにあるDVDボタンをタッチしてディスクを再生します。

1. 前の曲/次の曲の再生：
再生モードでは、リモコンのSEEK-/SEEK+を押すか、画面の「前へ/次へ」ボタンを押してください。

2. 繰り返し再生：
再生モードでは、リモコンのAMS/RPTボタンを押して以下のリピート機能を立ち上てください。
リピート(チャプター)→タイトルのリピート→すべての繰り返し
↑ リピート再生/オフ ←

注記：画面上の「繰り返し」ボタンでも操作できます。

3. プログラム再生
再生モードでは、リモコンの番号ボタンでいずれかのプログラム順序を直接押すと、入力されたプログラムを自動再生します。
10以上のプログラムには、リモート・コントロール上の番号ボタン10+を押し、番号ボタン0---9を選択します。
注記：次のように、番号ボタン10+20を一度押すと10+プログラム、10+ボタンを二度押すと20+プログラムを設定できます。注記：画面の番号ボタンでも操作できます。

4. 再生の一時停止
再生モードでは、再生を一時停止するために、リモコンで ⏯ ボタンを押してください。一時停止を解除するには、再度ボタンを短く押すと通常再生に戻ります。
注記：画面上の関連ボタンでも操作できます。

5. 再生を止める。
DVDモードでは、リモコンの■/〉ボタンを押すとプリストップ状態になり、⏯ ボタンを押すと続きから再生が始まります。完全に停止させるには、■/〉を2回続けて押してください。次に、再生ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。
注記：画面上の関連ボタンでも操作できます。

6. 進む/戻る
再生モードで進む/戻るには、それぞれ、リモコン上の ⏭/⏮ ボタンを押してください。 このボタンを押すごとに、早送りまたは早戻しのスピードは次のようになります。
X2→X4→X8→X16→X20
↑ 再生 ←

注記：画面上の「進む/戻る」ボタンでも操作できます。

7. 切替システム
再生モードでは、短くBAND/P/Nボタンを押すとシステムを切り替えることができます。順序は次の通り：
AUTO→NTSC→パル

8. スロー再生
スロー再生するにはリモコンのスローボタンを押してください。スロー再生のレベルは次のとおり。順序は次のとおり:

スロー1/2 → スロー1/4 → スロー1/5
↑
再生←スロー1/7←スロー1/6←

注記:この機能は、リモコンでのみ操作が可能です。

9. 拡大/縮小
画像を拡大/縮小するには、リモコンのズームボタンを押してください。レベルは次のとおり:

拡大2 → 拡大3 → 拡大4→ 拡大1/2
↑
拡大オフ← 拡大1/4←拡大1/3←

注記
1. この機能は、リモコンでのみ操作が可能です。
2. 拡大した画像はカーソルを上/下/左/右に動かすことで移動できます。
3. 縮小した画像は移動できません。

10. ODS
再生モードでは、リモコン上で短くODSを押すことで現在のディスクに入っているすべての情報を見ることができます。

11. メニューを選択する
再生モードでは、リモコンのPBCボタンを押すとメニューに戻ります。画面にはディスク内の章およびセクションが表示されます。リモコン上の▲/▼ボタンを操作するか、あるいはディスプレイ上のボタンをタッチすると、お好きな曲を選択することができます。 再生するには、⏯ ボタン/ENTERボタンを押してください。

12. タイトルを選択する
DVDモードでは、タイトルメニューに戻るにはTITLEボタンを押してください。表示は、すべてのディスクのタイトルを表示する。カーソルを使って章を選択し、再生ボタンを押して章を再生できます。

注記:リモコンで操作が可能です。

13. プログラム再生
DVDモードでは、プログラム機能で再生順序を設定することができます。操作は次の通りです。

PROG TC	TC	TC	TC
1 01 : 03	5 _ _ : _ _	9 _ _ : _ _	13 _ _ : _ _
2 01 : 06	6 _ _ : _ _	10 _ _ : _ _	14 _ _ : _ _
3 _ _ : _ _	7 _ _ : _ _	11 _ _ : _ _	15 _ _ : _ _
4 _ _ : _ _	8 _ _ : _ _	12 _ _ : _ _	16 _ _ : _ _
	PLAY	DELETE	

DVD再生中にST/PROGボタンを押すと、以下が表示される:
たとえば、1番目の曲をプログラムする場合は、01を入力して ▶ ボタンを押し、カーソルを2番目の枠に移動します。好きな曲、たとえば、3番目の曲を入力します。. 2番目の曲をプログラムして▼ボタンを押し、カーソルを2 __ __ に移動します。. 01を入力し、▶ ボタンを押してカーソルを2つ目の枠に移動します。お好きな曲、たとえば、6番目の曲を入力します(6を押す)。再生をプログラムするために ⏯ ボタンを押してください.
通常モードに戻るので、ST/PROGボタンを押し、それから ⏯ ボタンを押す。
注記:この機能は、リモコンでのみ操作が可能です。

CD機能操作

1. ディスク再生
Cdディスクを差し込むと、自動的に再生が始まります。ディスクが差し込まれている状態であれば、メイン・メニューのDVDアイコンをタッチすると再生できます。

2. 前の曲/次の曲を再生する。
再生モードでは、リモコンのSEEK-/SEEK+ボタンを押すか、画面「previous/next」ボタンを押して選択してください。

3. 早送り/早戻し
再生モードでは、⏭/⏮ ボタンを長押しすると早送り/早戻しできます。ボタンを押すたびに、以下のように早送り/早戻しの速度が変わります。

X2→ X4 → X8 →X16→X20
↑ 再生 ←

注記:また、画面の「forward/backward」ボタンでも操作できます。

4. プレーを繰り返す。
再生モードでは、以下のリピート機能を実行するにはAMS/RPTボタンを押してください。

シングル・リピート→すべて繰り返し→繰り返し再生オフ
↑

注記:また、画面上の「繰り返し」ボタンでも操作できます。

5. ランダム再生
CD再生モードでは、リモコンのRDMボタンを押すと、再生する曲が選択されます。通常再生モードに戻りたい場合は、再度RDMボタンを押してください。

6. 再生の一時停止
再生モードでは、リモコンの⏯ ボタンを押すと再生を一時停止します。 通常再生を再開するには、再度同じボタンを短く押します。

注記:また、画面上の関連ボタンでも操作できます。

7. 再生の停止
Cdが再生されている状態で、初めに ■/⏏ボタンを押すとプリストップ状態になり、⏯ ボタンを押すと再生を続けることができます。 連続して■/⏏ボタンを2度押すと完全に停止状態になり、再生ボタンを押すとディスクの再生が始まります。

注記:また、画面上の関連ボタンでも操作できます。

8. OSD
再生モードでは、現在再生しているディスクの情報をすべて表示させるには、リモコンのOSDボタンを押してください。

注記:また、画面の「ディスプレイの表示」ボタンでも操作できます。

15. VCDプログラム再生
VCDモードでは、プログラム再生機能で曲の再生順序を設定できます。プログラム再生操作ステップは次のとおり
VCDモードでは、ST/PTOGボタンを押すと以下の表示が出ます:

PROG			
TC	TC	TC	TC
1 _ _ : _ _	5 _ _ : _ _	9 _ _ : _ _	13 _ _ : _ _
2 _ _ : _ _	6 _ _ : _ _	10 _ _ : _ _	14 _ _ : _ _
3 _ _ : _ _	7 _ _ : _ _	11 _ _ : _ _	15 _ _ : _ _
4 _ _ : _ _	8 _ _ : _ _	12 _ _ : _ _	16 _ _ : _ _
	PLAY	DELETE	

リモコンの番号ボタンによって、プログラムを作りたいソングを入力してください。例:最初の曲をプログラムするには、たとえば、お好みの曲が4番目に入っていれば、リモコンの番号ボタン4を押します。2番目の曲をプログラムするには、▼ボタンを押すとカーソルが2___に移動します。お好きな曲、たとえば8番目の曲であれば、リモコンの番号ボタン8を押します。. 再生をプログラムするために⏯ ボタンを押す。通常モードに戻るので、ST/PROGボタンを押し、それから ⏯ ボタンを押す。

注記:この機能は、リモコンでのみ操作が可能です。

14. アングルスイッチ
DVDディスクがマルチアングルで記録されている場合、再生中にANGLEボタンを押してアングルを切り替えることができます。
順序は次の通りです:
アングル 1 → アングル 2 → アングル 3

注記
1. リモコンで操作が可能です。
2. マルチアングルで記録されたDVDディスクのみの機能です。
3. DVDのディスクのカバーに 印がある場合. サインの数は、そのディスクが有しているアングル数を意味します。
4. 切り替えることができない

15. マルチオーディオ
DVDディスクにはさまざまな言語やオーディオシステムがある。
DVDディスクがマルチ-オーディオで記録されている場合、再生中に対話の言語とオーディオシステムを切り替えることができる。
対話の言語を変更するには、AUDIOボタンを連続して押してください。

注記
1. リモコンで操作が可能です。
2. マルチ言語を有するDVDディスクだけのものである。
3. ② サインがDVDディスクのカバーにある場合、② はそのDVDがマルチ言語/オーディオシステムで記録されていることを意味します。

16. マルチ字幕
DVDディスクがマルチ字幕で記録されている場合、字幕の言語を切り替えることができる。
言語を変更するには、続けてSUB-Tボタンを押してください。

注記
1. リモコンで操作が可能です。
2. マルチ字幕で記録されているDVDディスクのみの機能です。
3. DVDディスクのカバーに .2. サインがある場合、その .2. DVDにはいくつかの字幕が用意されていることを意味します。

17. セットアップ
セットアップボタンを押すと、システムセットアップメニューとサブメニューが表示されます。でお好 ◂▴▸ きな項目を選択します。適切な項目を選択したら、▲/▼/◀/▶を押してENTERで確定します。

注記
1. リモコンで操作が可能です。
2. モデルまたはディスクが異なる場合、機能設定が異なる場合があります。
3. ディスクに選択された言語が記録されていない場合、ユニットが指定された言語を表示します。
4. 「SETUP」については、以下をお読みください。
リモートコントロールの「SETUP」を押すと、次のタッチメニューを表示します。

VCD/MPEG-4機能の操作

1. ディスク再生
VCD/MPEG-4ディスクを挿入すると、自動的に再生が始まります。ディスクが挿入されている時、メイン・メニューにあるタッチDVDのアイコンは再生できる。

2. 前の曲/次の曲の再生
再生モードでは、リモコンのSEEK-/SEEK+ボタンを押して選択してください。

3. 早送り/早戻し
再生モードでは、▶▶| /|◀◀ ボタンを長押しすると早送り/早戻しできます。ボタンを押すごとに、以下のように早送り/早戻しスピードが変わります:

X2 → X4 → X8 →X16 → X20
↑ 再生 ←

注記:また、画面の「forward/backward」ボタンでも操作できます。

4. プレーを繰り返す
再生モードでは、以下のリピート機能を実行するにはAMS/RPTボタンを押してください。

シングルリピート → すべてリピート → リピート再生オフ
↑

注記:VCDモードでは、PBCをオフにしていると、この機能を使うことができます。また、画面上の「繰り返し」ボタンでも操作できます。

5. ランダム再生
VCD再生モードでは、リモコンのRDMボタンを押すと、ユニットが再生する曲を選択します。通常再生モードに戻りたい場合は、再度RDMボタンを押してください。

注記:1. VCDモードでは、PBCをオフにしていると、この機能を使うことができます。
2.この機能は、画面上の「繰り返し」ボタンでも操作できます。

6. 再生の一時停止
再生モードでは、リモコンの ▶|| ボタンを押して再生を一時停止してください。通常再生を再開するには、再度ボタンを短く押してください。
注記:この機能は、画面上の関連ボタンでも操作できます。

7. 再生の停止
VCDを再生している状態では、初めに■/〉ボタンを押してプリストップ状態にし、▶||ボタンを押すと続きから再生されます。■/〉ボタンを続けて2回押すと完全に停止状態になり、再生ボタンを押すとディスクの最初から再生が始まります。
注記:この機能は、画面上の関連ボタンでも操作できます。

8. システム・スイッチ
再生モードでは、リモコンのBAND/P/Nボタンを短く押すと、以下のようにシステムの順序が切り替わります:

オート →NTSC → PAL
↑

9. スロー再生
再生モードでは、スロー再生するにはリモコンのSLOWボタンを押します。速度レベルは次の通り:

スロー1/2 ― スロー1/3 --- スロー1/4 --- スロー1/5 --- スロー1/6
↑ 再生--- スロー1/7 ←

注記:この機能は、リモコンでのみ操作できます。

10. 画像サイズの拡大/縮小
再生モードでは、リモコンのZOOMを押して画像の拡大/縮小を行います。画像サイズのレベルは次の通り:

拡大2------- 拡大3-------- 拡大4-------- 拡大1/2
↑ 拡大オフ--- 拡大1/4---- 拡大1/3←

注記: 1. この機能は、画面上の「ズーム」ボタンでも操作できます。
2. 上/下/左/右カーソルで拡大画像に移動します。
3. 縮小画像は移動できません。

11.OSD
再生モードでは、リモコンのOSDボタンを押すと現在再生しているディスクの全情報を表示できます。
注記:この機能は、画面の「画面表示」ボタンで操作することもできます。

12. 項目の選択
再生モードでは、どの項目番号を入力するにもリモコンの番号ボタンを直接押します。ユニットは入力されたプログラムを自動再生します。数字が10以上のプログラムを入力するには、リモコンの数字ボタン10+、および数字ボタン0-9を選択します。
注記:次のように、番号ボタン10+を一度押すと10+プログラム、10+ボタンを二度押すと20+プログラムを設定できます。また、画面の番号ボタンでも操作できます。

13. サウンドトラックの切り替え
VCD再生モードでは、繰り返しAUDIOボタンを再生して以下の順序でサウンドトラックに切り替えてください。画面中のタッチ「AUDIO」ボタンは、またこの機能を実現できる。

左サウンドトラック----右サウンドトラック----ミックスサウンドトラック----ステレオ
↑

14. PBC(メニュー)再生
VCDモードでは、このボタンを押すとPBCが再生されます。そして、すべてのメニューが画面に表示され、番号ボタンと連動して曲を選択できます。PBCのいずれかの曲を再生していて、別の曲を選択したくない場合は、ボタンを押して停止してください。
注記
1) この機能は、リモコンで操作できます。
2) PBCは、SVCDおよびVCD2.0ディスクに適切である。
3) PBCモードでは、番号ボタンを押して曲を選択することはできません。